

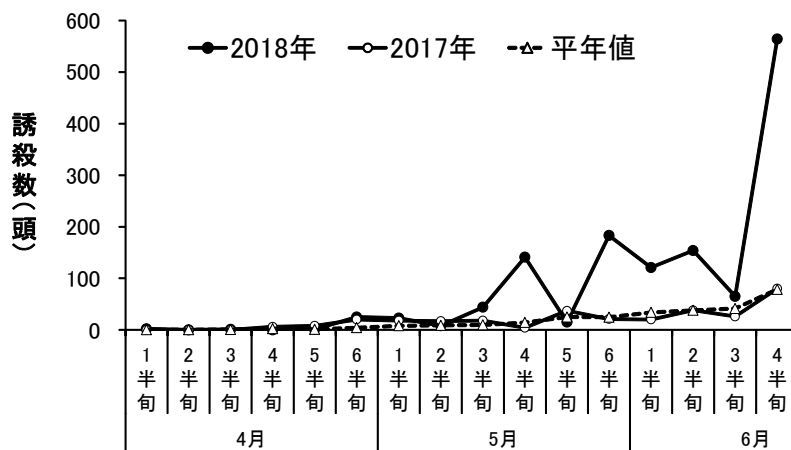
平成30年度 病害虫防除技術情報 第5号

平成30年7月1日
大分県農林水産研究指導センター
農業研究部

果樹カメムシ類の発生動向について

果樹カメムシ類（チャバネアオカメムシ、クサギカメムシ、ツヤアオカメムシ）は、ナシやカンキツ類等の果実に寄生し、吸汁して被害を与えます。また、宇佐市では5月以降フェロモントラップへの誘殺数が多く、一部のナシ園で幼果の被害が確認されています。今後は果樹園への飛来に十分注意し、早期発見、早期防除に努めることが重要です。

1. フェロモントラップへの誘殺数（宇佐 ナシ・ブドウチーム）



2. 防除上注意すべき事項

- (1) カメムシ類の園内への飛来は地域や園地により異なるため、カメムシの飛来を察知するためには園内外をこまめに見回る必要があります。
- (2) 薬剤散布はカメムシ類が園地に飛来する夕暮れ時に行い、カメムシに直接薬剤がかかるようにしてください。
- (3) 園内への多飛来が確認された場合は、地域ごとに一斉防除を実施するとより防除効果が上がります。
- (4) 合成ピレスロイド系殺虫剤の多用は、天敵等への影響が大きくハダニ類の発生を助長するので、使用は最小限にしてください。
- (5) 使用薬剤は大分県農業研究部病害虫対策チームホームページ内にある「大分県主要農作物病害虫及び雑草防除指導指針」を参照し、農薬使用基準（使用時期、使用回数等）を遵守してください。

(ホームページアドレス <http://www.jpnn.ne.jp/oit>)

